

2016年4月4日

研究課題名：2型糖尿病入院患者における DPP-4 阻害薬の使用実態とその適正使用に関する
後ろ向き観察研究 (MUE)

患者さま医療情報の研究利用について

この度、当院では2型糖尿病の治療で DPP-4 阻害薬（サキサグリプチン、テネリグリプチン、リナグリプチン、アログリプチン、ビルダグリプチン、シタグリプチン）を服用中の患者さまに対して、より効果的で安全な薬物療法を提供するため、DPP-4 阻害薬の処方状況や、他の抗糖尿病薬の併用状況などを診療録（カルテ）に基づき調査させていただくこととなりました。

この調査では、集計、解析の際に診療情報を個人が特定できないように匿名化して行い、患者さまの氏名や住所等の個人情報を厳重に保護し、患者さまに不利益が生じないよう配慮しています。また、この研究は倫理委員会で研究計画書の内容及び実施の適否等について、科学的及び倫理的な側面が審議され承認されています。

この調査によって得られた情報は、研究の目的以外には使用いたしません。研究に用いるデータは北里大学病院薬剤部のコンピュータで責任持って保管いたします。データを操作できる者は ID・パスワードを取得している限られた研究者とし、データは厳重に管理されます。この調査結果の一部が学会や医学・薬学論文等に公表されることがありますが、その際、個人が特定されるような形で情報が公表されることはありません。なお、収集したデータは研究期間終了後、速やかに消去いたします。

対象に該当する患者さまで、この調査について疑問やご自身の診療情報の使用を希望されない方がおられましたら、薬学部教員室 イワサワ マキコ 岩澤 真紀子（内線 8089）までお申し出ください。

調査対象者：

2015年10月1日から12月31日までの期間に、北里大学病院で採用されている DPP-4 阻害薬（サキサグリプチン、テネリグリプチン、リナグリプチン、アログリプチン、ビルダグリプチン、シタグリプチン）を処方された患者さま

研究期間：

2016年4月4日～2018年3月31日まで

研究代表者：北里大学薬剤部 岩澤 真紀子

連絡先 北里大学病院薬学部教員室

代表電話 042-778-8089

担当者 イワサワ マキコ 岩澤 真紀子